

学校の応援団

奈良教弘NEWS

株式会社 奈良教弘
奈良市二条大路南 1-2-11

フレッシュティーチャーズキャンペーン

ワンタッチテントを寄贈 治道小へ

2023年9月20日、シブラルタ生命から大和郡山
市立治道小学校に、テントの寄贈があり、奈良教弘の
役員も参加した。

シブラルタ生命では4月、新任の先生を応援する「フ
レッシュティーチャーズキャンペーン」を実施してい
る。このキャンペーンには学校賞があり、抽選の結果、
治道小学校に一等のワンタッチテントが贈呈された。

当日、運動場に組み立てられたテントを前に贈呈式
が行われ、シブラルタ生命天理営業所の西村修一所長
から森田徹校長に目録が手渡された。

森田校長先生は、「はじめ、どのようなテントなのか
分からなかったが、実物を見て思った以上に立派で驚
いた。テントは熱中症対策に必要なものだが、治道小
学校にはテントがあまりないので、今回の贈呈はあり
がたかった。運動会をはじめ様々な学校行事で使って
いきたい。」と話された。

贈呈式後、先生方にテントの組み立てと片付けを
実際にやっていただいた。従来のテントと比べ、非常
簡単にできたので、先生方は大変喜んでおられた。
(熱中症計・ナノスプレーガンの当選校は裏面に記載)

(九鬼立明)



「ドリーム・スクール・キャラバン

走力up!教室

大淀町立大淀希望ヶ丘小学校

大和高田市立片塩小学校

ドリーム・スクール・キャラバンとは、未来を担
う子どもたちに、夢を持ち、夢に向かって努力する
ことの大切さ、その努力を諦めることなく続けるこ
とで夢の実現に近づけることを伝え、その「夢を叶
える力」育成応援をするプロジェクトである。全国
47都道府県の小学校をキャラバンし、子どもたちに
「ドキドキ」「ワクワク」する、夢のような時間を
プレゼントする事業。今年度は、「走力up!教室」
『バスケットボール教室』『体操教室』の3教室を35
都道府県で開催される。各教室では現役プロ選手、
プロアスリートコーチなどが講師となり、素晴らしい
技術の披露やプロなら
ではの指導を通して、夢
のきっかけを提供する。

9月12日(火)、心配さ
れた天候にも恵まれ、午
前・大淀町立大淀希望ヶ
丘小学校6年生(森川武
彦校長)、午後・大和高
田市立片塩小学校6年生
(藤榮直樹校長)が抽選
で奈良県代表となり実施
した。『走力up!教室』
は、プロスプリンターコー
チ



の「荒川 優」さん(筑波大学時代100mの選手
として10秒5の記録を持ち、エースとして活躍、ニ
ュージールランドオタゴオープンで準優勝、ニューバ
ランスのCMにも出演)と2名のアシスタントコーチ
が指導。(シブラルタ生命関係者、奈良教弘役員が
参加)

教室の開始。不安そうな子どもたちの表情、走力に自信
のある子はちらほら、大半は苦手にしているよう
である。荒川コーチも小学校時代の運動会では常に
ピリであったことを告白、そこからの努力で今がある
という軽快な話術で子どもたちも「ホッ」と安堵の
表情に、間髪入れず走力に自信のある子ども2名と
荒川コーチが30mの対決。圧倒的な荒川コーチの速
さを目の当たりにした子どもたちは目を白黒させて
いた。これから30分の練習で全員が速くなると断言
された子どもたちは半信半疑、疑いの表情であっ
た。軽いウォーミングアップ(自分が考える一番美

しいウォーキング、ジョ
ギングの後、1回目のタ
イム測定(30m)

ここからが本番。速く走
るコツを教えてもらうの
ではなく、速く走るため
にはどんなことに注意す
ればよいのかを子どもた
ちに考えさせながら練習
を進めていく。子どもた
ちからは、腕の振り、前
傾姿勢、リラックス、ま
っすぐ前を見るなどの意
見が出ていた。そこで腕を身体の後ろで組んだまま
で速く走る方法を自分なりに考えてやってみる。子
どもたちは限られた時間の中でいろいろな方法を
試していた。結果、「前傾姿勢、まっすぐ前を見る、
肩の力をぬいて腕を振る」の3点を導き出す。練習
後、2回目のタイム測定。
荒川コーチの言葉とおり全員がタイムを縮める結
果となった。1秒速くなった子どもがいたのには本
当に驚きであった。



荒川コーチからの言葉。「あと5分時間があるけど
練習頑張ってみる？」の問いかけに全員がやりた
い。教室が始まる前、30分で速くなるのは無理と
感じていた子どもたちが5分の練習で更に速くな
ると感じている。このように子どもたちの心の持ち
方を変えていく指導に感銘を覚えた。最後に、荒川
コーチから受講証(荒川コーチのサイン入り)授与
され、記念撮影を行い終了した。
教室終了後の子どもたちの自信に満ちあふれた表
情が印象的であった。

(村田貴)



☆子どもの感想☆
ほくは30分で走るのが速く
なるなんて想像できませんでした。
荒川コーチの言葉で心に残
ったことは「才能ってなんだろ
う」です。ほくも「才能」につ
いて考えてみましたが疑問ば
かりでできませんでした。コー
チの話を聞いて、「才能がないと思
うのではなく、才能をつくれ
ばよい。」と思うようになりました。
た。コーチは、ほくたちに「あ
きらめないこと」を教えたか
たのだと思います。このような
機会を設けていただきありが
うございました。

☆子どもの感想☆
荒川コーチの話を聞いて心
に残ったことは、「走ることも
うだけど、何事にもあきらめ
ないことが大事!」ということ
です。私もこれから何事にもあ
きらめずにチャレンジしてい
きます。
荒川コーチが走っている姿
とてもかっこよかったです。ま
たどこかでお会いできればう
れしいです。

☆子どもの感想☆
私は、この教室で速く走るた
めには、姿勢をたおすことだと
知りました。なぜ姿勢をたお
すのらうと思ひ、姿勢をたお
す走ってみたり、いろいろな
方法を比べてみました。すると
姿勢をたおした方が風を受ける
面積が少ないことがわかりま
した。今日の練習を家でも続
けたいと思います。
今日、めちゃくちゃ楽しか
った。自分もつきました。これ
からどんなことにもあきらめ
ず、努力していきます。ありが
うございました。

熱中症計(53校)

【幼稚園・こども園】
 陵西幼稚園・鶴舞やまこども園

【小学校】
 佐保小学校・あやめ池小学校・済美南小学校・東登美ケ丘小学校・平城西小学校・ならやま小学校・浮孔西小学校・郡山北小学校・山の辺小学校・朝和小学校・金橋小学校・三輪小学校・生駒小学校・下田小学校・新庄小学校・磐城小学校・平群南小学校・十津川第一小学校

【中学校】
 春日中学校・三笠中学校・登美ケ丘中学校・登美ケ丘北中学校・平城東中学校・片桐中学校・天理北中学校・桜井中学校・五條東中学校・白鳳中学校・平群中学校・田原本中学校・川上中学校・青翔中学校

【小中一貫校・義務教育学校】
 曾爾小中学校(前期)・王寺南義務教育学校(小)・王寺南義務教育学校(中)・下市あきつ学園・野迫川小中学校

【高等学校】
 奈良商工高等学校・山辺高等学校・郡山高等学校・二階堂高等学校・橿原高等学校・五條高等学校・青翔高等学校・香芝高等学校・高取国際高等学校・王寺工業高等学校・高田商業高等学校

【養護学校】
 二階堂養護学校・明日香養護学校・西和養護学校



ナノスプレーガン(55校園)

【幼稚園・こども園】
 井戸堂幼稚園・辰市こども園

【小学校】
 済美小学校・伏見小学校・青和小学校・西大寺北小学校・三碓小学校・佐保台小学校・土庫小学校・平和小学校・郡山西小学校・畝傍北小学校・耳成小学校・朝倉小学校・織田小学校・忍海小学校・新庄北小学校・田原本北小学校・たかむち小学校・上牧小学校・真美ケ丘第一小学校・黒滝小学校・十津川第二小学校

【中学校】
 若草中学校・平城中学校・京西中学校・高田西中学校・郡山中学校・白檀中学校・大三輪中学校・生駒南中学校・香芝西中学校・高取中学校・上牧第二中学校・真美ケ丘中学校・大淀中学校

【小中一貫校・義務教育学校】
 生駒北小中学校(小)・下北山小中学校(中)

【高等学校】
 奈良高等学校・山辺高等学校山添分校・高田高等学校・大和中央高等学校・畝傍高等学校・商業高等学校・法隆寺国際高等学校・磯城野高等学校・大和広陵高等学校・奈良南高等学校・県立大附属高等学校・育英西高等学校

【養護学校】
 ろつ学校・奈良養護学校・奈良東養護学校・高等養護学校・大淀養護学校

リユースノートパソコン 寄贈

山添村立やまぞえ小学校

タブレット生命では、「未来を担う子どもたちを応援する」をテーマに社会貢献活動を実施している。社内で使用しなくなったパソコンのうち状態の良いものを選び、リユース処理を行った後、全国へき地教育研究連盟を通じて、希望する学校に寄贈するものである。2015年から継続しており、今年度分を合計すると2027校、2394台になっている。今年度、山添村立やまぞえ小学校(浅野典昭校長)に2台のノートPCが寄贈された。やまぞえ小学校は、ICT教育に力を入れておられ、校長先生も大変感謝されていた。

(村田貴)

横断幕完成

奈良教弘は1956年の結成以来、教職員が互いの万が一に備えるという共済事業(助け合い活動)を行っている。この事業の実施に当たっては、タブレット生命保険株式会社と提携し、その実務の一部を担っていただいている。また両者は協力し、学校を応援する様々な事業を展開しているところである。例えば、本紙に掲載した「フレッシュテイチャーズキャンペーン」や「ドリウム・スクール」や「カラバン走力up教室」などである。今後ともこうした事業を充実させていきたいと考え、今回、奈良教弘とタブレット生命の横断幕を作成した。

(九鬼立明)



編集後記

今年の夏は、かつてないほどの猛暑でした。ようやく朝夕は、秋を感じられるようになってきました。学校応援キャンペーンへの協力、ありがとうございました。おかげさまで、応募率全国一位になることができました。今後とも奈良教弘の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。今後、不定期ではありますが教弘ニュースを発行させていただきます。

(村田貴)